

猫の手も借りたい人にも手を貸したい猫にも

博士世界

【はかせせかい】 Prisoners' World

寝る間も惜しんで研究？それとも暇人？

学生の「時間の使い方」へのイメージと現実とは

博士学生の一週間

Webアンケートの結果も

誌面にて公開！

数字で見る博士課程②

博士課程には何年いるの？

第2号

2017.2

WEBアンケート

博士課程の院生のイメージは？

結果発表！

【調査概要】
 調査期間 2017年1月22～29日
 調査方法 google Form で作成した Web アンケートを Twitter や Facebook により拡散
 回答者 318名



博士課程の院生は、博士課程以外の人からはどう思われているのか？

これを明らかにすべく、「博士世界」編集部では2017年1月にWebアンケートを実施しました。お陰様で、予想を上回る数のご回答をいただきました。ご協力くださった皆さま、本当にありがとうございました！

そして、興味深い結果もたくさん出ましたので、アンケート結果は今回と次回に分けて掲載いたします。

今回は、単純集計の結果を公開します！

質問1…博士課程の院生のイメージって？

第1位 専門性高い 292(票)

第2位 アタマいい 166

第3位 研究室Ⅱ家 132

第4位 オタク 74

第5位 コミュ障 59

第6位 モラトリアム 46

第7位 話合わなそう 43

第8位 妖精 20



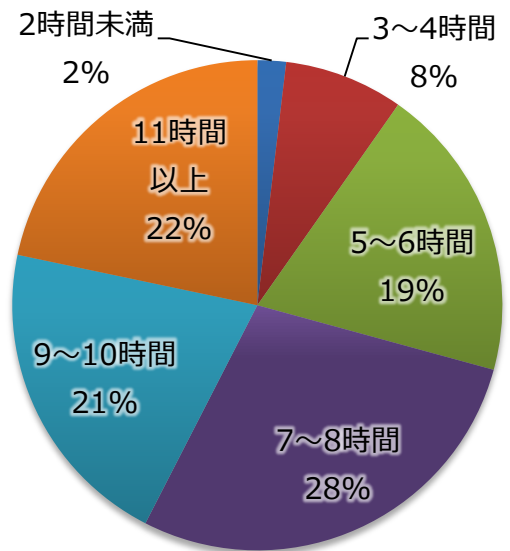
まずは博士課程の院生のイメージをたずねました。その結果、9割以上の方が「専門性高い」を選んでいました。やはり、博士課程の院生はある分野の専門家を指している人たちと認識されているようです。2位の「アタマいい」や3位の「研究室Ⅱ家」などからも、研究熱心で真面目というポジティブな学生像が思い浮かびます。

一方で、「オタク」「コミュ障」「モラトリアム」といったネガティブなイメージはあまり選ばれませんでした。例えば、4位の「オタク」は74票と1/4未満の選択率でした。

その他、質問1の自由回答は…

- 尊敬に値する人、国がもっと支援している立場 (社会人, 修士卒)
- お金がない (学部2年/博士課程学生)
- 同年代の社会人と比べて視野が狭い (修士課程学生)
- その人の個性によるでしょ (社会人, 学部卒)

質問2…博士課程の院生って1日あたりどれくらい研究してそうですか？



続いて、博士学生の研究時間がどのくらいかたずねました。最も選ばれたのは「7～8時間」で、平日のみ研究するなら週に40時間程度の計算になります。また、4割以上の回答者が9時間以上の選択肢を選んでいきます。

ばたんきゅん



目次

Webアンケート調査結果…2

特集 博士学生の一週間…3

数字で見る博士課程…7

読者コーナー&投稿大募集…8

編集後記…8

その実態とは！？ P.3 に急げ！

人類一人ひとりに与えられた時間は同じ。
博士課程学生は、その時間で何を紡ぐ？

博士学生の

一週間

アンケートによると、博士課程の学生の研究時間は1日およそ3時間、11時間以上まで、予想にはかなり幅がありました。結局、博士課程の学生はどんな過ごし方をしているのでしょうか？

…疑問に思ったらそこは調べてみるのが『博士世界』！
第2号では国立の大学院の博士課程に所属する現役の学生6名に、標準的な一週間の過ごし方と、研究している場所（学内・学外・自宅）をうかがいました。

（補足：専攻名・分野名はご本人に掲載希望や具休名をうかがった上で掲載しています。）

凡例

睡眠

趣味や余暇

研究A

研究B

有償活動

バイト

雑用

※研究場所は、大学内以外の場合は図中に書いています

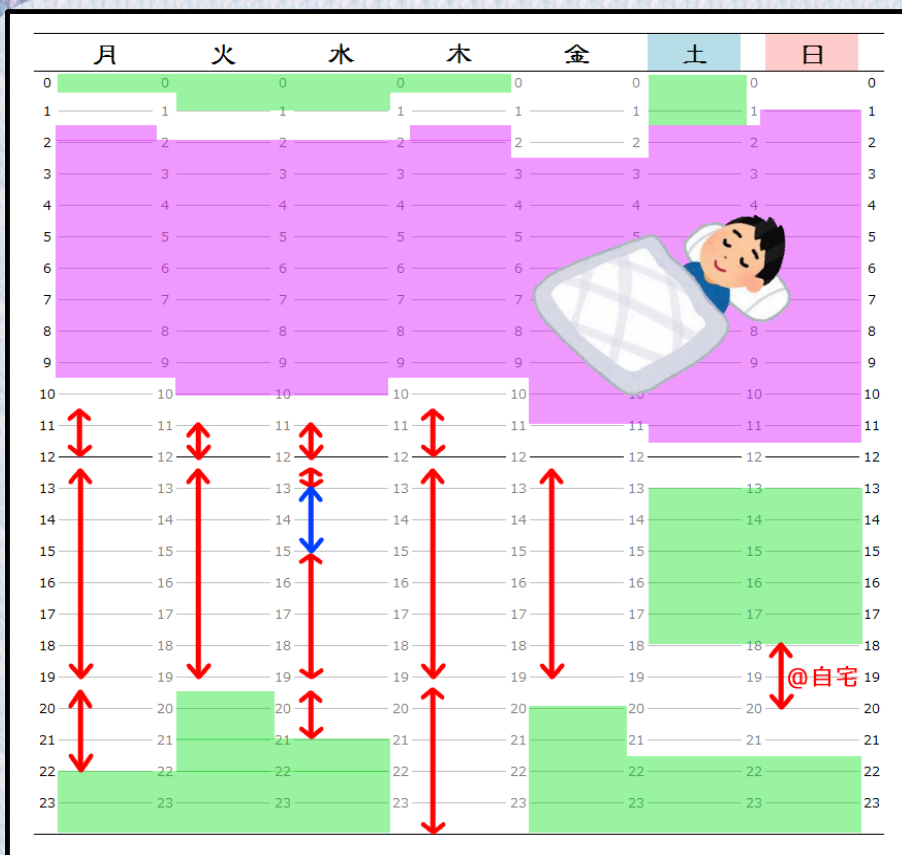
いわゆる“研究”。論文執筆、調査、実験、データ分析など

いわゆる“勉強”や交流関連。学会や勉強会など

TA, RA, 非常勤講師など

研究関連以外の仕事で収入があるもの

研究室運営、後輩指導など（研究本体と無関係、無収入）



雑用：月～金 各0.5時間
研究場所：月～金は大学内、日曜は自宅

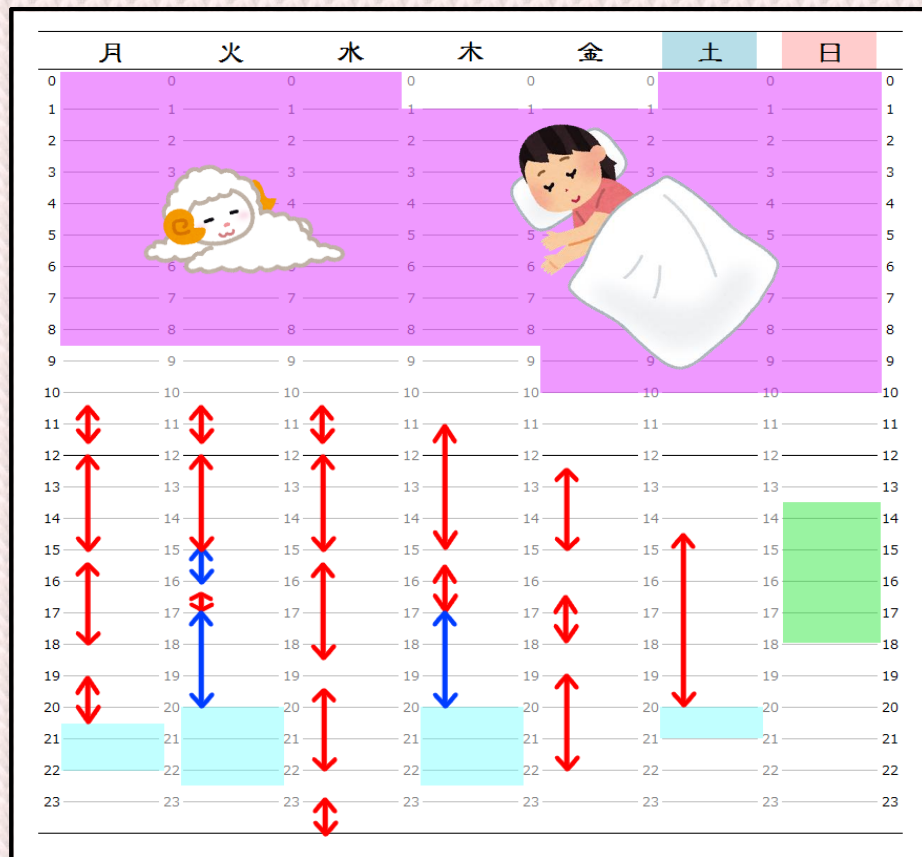
研究A：週41.5h
研究A+B：週43.5h

Aさん 農学（実験系）男性 下宿生

まずは、農学を専門にしている20代男性の一週間を紹介します。

Aさんは、一日当たり概ね8時間研究しているようです。一般的な社会人と同程度の勤務時間ですね。特徴的なのは、睡眠・研究・趣味の時間をバランスして取っている点です。博士後期課程では、生活に占める研究の比重が必然的に高くなるため、意識的にオン・オフを切り替えししっかり休息を取ることが、精神衛生上も生産性の観点からも重要となります。奨学金制度を上手く活用することで時間を作ることが出来る為、志望する大学院の奨学金制度は事前に調べておくことをお勧めします！

Bさん 化学（実験系）女性 下宿生

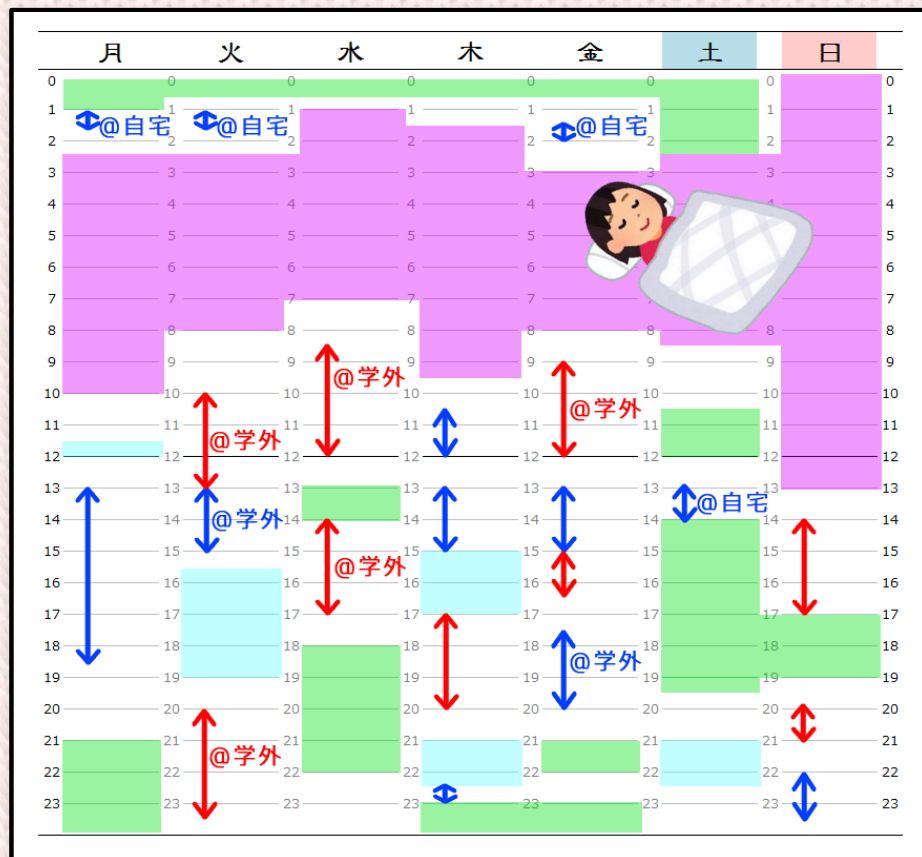


研究 A : 週 41 h
研究 A + B : 週 48 h

研究場所 : 月～土すべて大学内

Bさんは、平日は寮で暮らし週末はたまに帰省する下宿生です。実験系では他の院生と装置を共同利用する事が多く、また実験対象の特性（例…生化学系で反応に時間が掛かる、熱工学系で実験条件が定常状態になるまで待つ等）や実験環境の整備（人通りの少ない夜でない」と振動でデータにノイズが入る等）によってどうしても生活が不規則になりがちです。体調管理の観点から、志望する研究領域での時間の使い方を調べておく」と院生生活がスムーズに過ごせます！

Cさん 理工学系 女性 下宿生



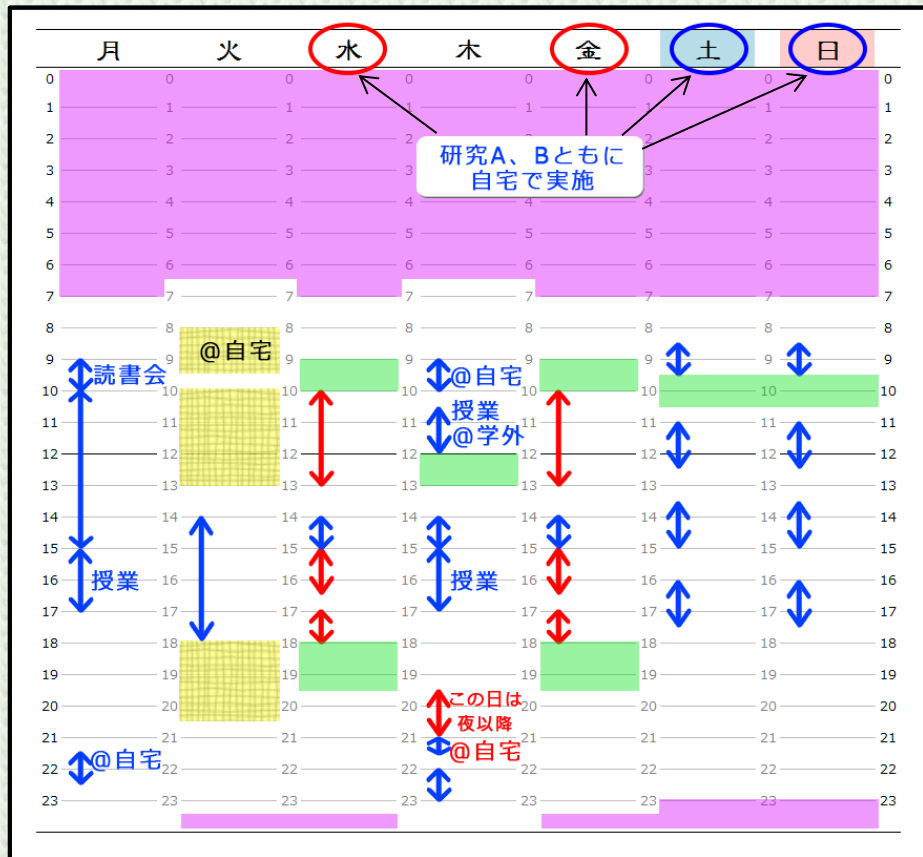
研究 A : 週 24.5 h
研究 A + B : 週 44.5 h

研究場所 : 週 3 日大学内、週 3 日学外
+一部は自宅でも行う

Cさんは、博士論文執筆のための研究に加え、学外で共同研究プロジェクトでのフィールドワークにも参加し活動しています。学外での研究・勉強会の時間は研究領域というより所属する研究室等によっても大きく変わる事で、例えば企業や研究所との共同研究を行うために、郊外の研究設備に遠征する場合があります。移動は疲れるものの、論文を読む、研究アイデアをまとめる等、効率的に時間を使える利点もあったりと、研究が捗らない訳ではないと思われれます。

Dさん 人文学系 女性 実家主

Dさんは、文学系の研究をしているそうです。人文学系の中でも特に文学・思想系の分野では、研究をする為に必要となる知識（語学・史学等）の獲得に多くの時間を掛けると思います。Dさんも同様に学内／学外問わず様々な勉強会に足を運び、また勉強をしているようです。理工系でも、研究が煮詰まってきた時や知識の吸収など、研究室外で学術的な交流ができるコミュニティを持っておくと研究が捗る事もあると聞きます。

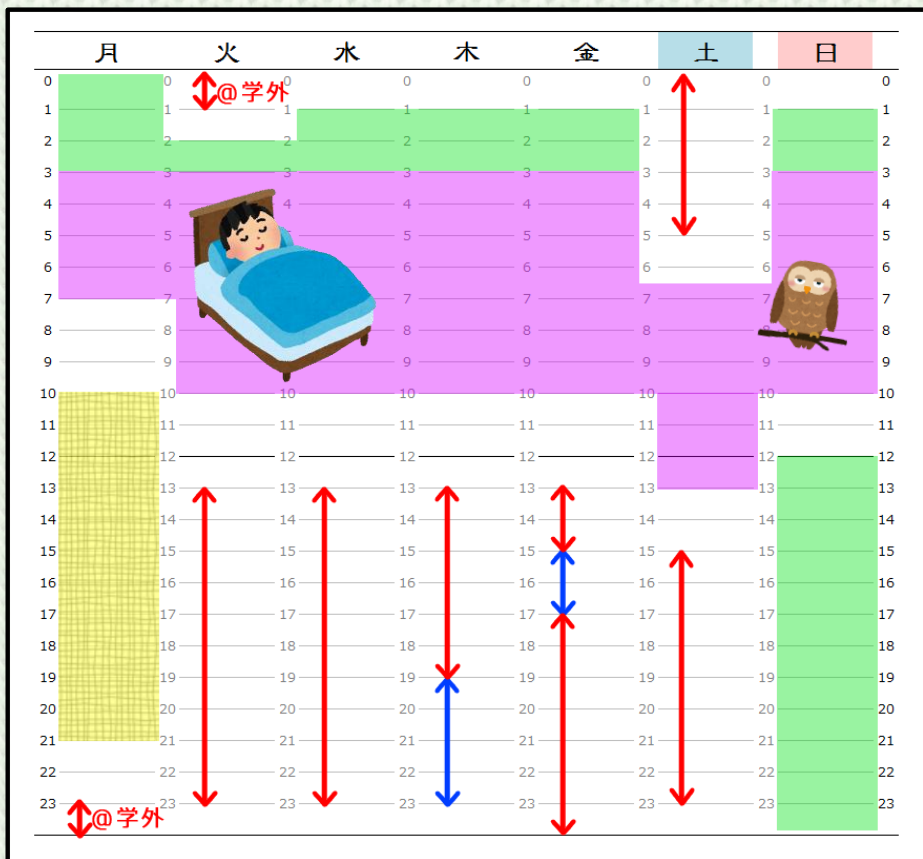


研究場所：平日2日と土日は自宅
+ 平日3日は大学内・学外・自宅

研究 A： 週 12.5 h
研究 A + B：週 45.5 h

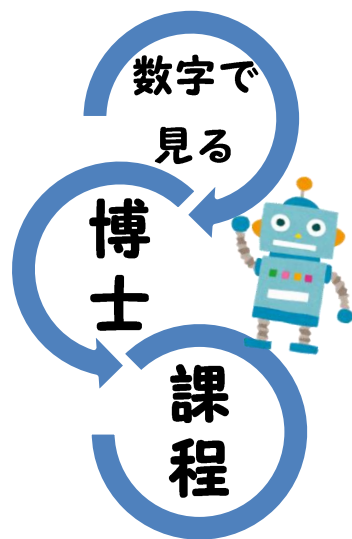
Eさん 技術経営専攻 男性 実家主

Eさんは、実学といわれる経営系の研究をしています。午前・午後で時間の使い方が明確に分かれており、午前は睡眠・食事等、そして午後から深夜まで研究というライフサイクルを送っています。技術経営等の実学系では社会人博士も多く所属しており、それに合わせ就業後でも間に合うよう、ゼミの時間が遅めに設定されることがよくあります。土日にゼミや講義が入る事もしばしばあるようです。アルバイト等をされる予定の方は十分気を付けてください。



研究場所：火～土は学内
+ 学外で週 1 日

研究 A： 週 50 h
研究 A + B：週 56 h



第2回 博士課程には何年いるの？

博士課程学生は、4〜6ページまでのような「博士課程の1週間」を繰り返して、博士号取得に向かっていきます。それでは、博士課程には何年間いるのでしょうか？

多くの大学院では、医歯薬獣医系以外で博士号をとるには、学部卒業のあと、修士課程2年と博士後期課程3年の、合わせて5年間にわたって大学院に通う必要があります（この年数を短縮できる制度のある大学院もたくさんあります）。ここから先は最低修了年限が3年の博士（後期）課程の大学院を対象にデータを見ていきます。

「卒業」≠ 博士

ところが博士課程は必ずしも標準修業年限では修了できません。博士号取得のための論文を書く必要があるからです。そのため、ある年に「卒業」した全員が博士号を取得しているわけではなく、3年以上博士課程に在籍して、博士論文を提出せず卒業する「単位取得満期退学者」（以下では満期退学者と表記）がいます。その割合の変遷が図1です。これを見ると、文系の人文・社会・教育では満期退学率が高く、理系はその逆であることや、近年は全体的に満期退学率が低下（≠博士号をとって卒業する割合が増加）していることがわかります。

分野別の満期退学率と博士課程卒業数の変遷

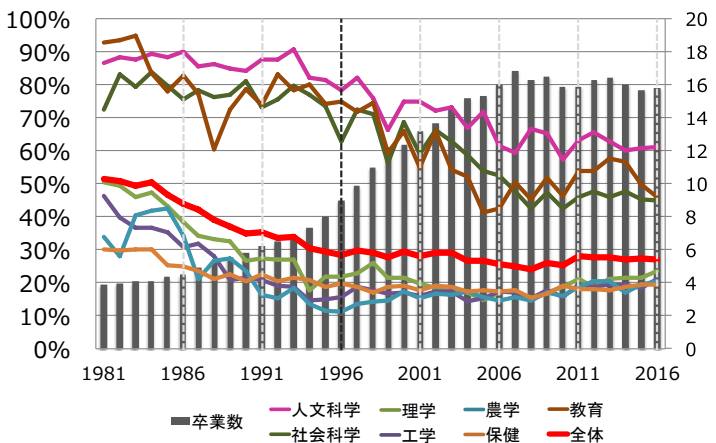


図1 分野別の単位取得満期退学率の変遷(学校基本調査より作成)
※その他と母数の少ない家政系・芸術系は表示していないが、全体には含まれている

3年以内で卒業する人は全体の半数

それでは、満期退学者も含めて、博士課程には何年くらい在籍しているのでしょうか。文部科学省の学校基本調査では入学年度別の卒業に要した年数はわからないので、卒業年ベースで見たのが図2です。1996年までは、最低修了年限卒業率は横ばいか、ゆるやかに上昇していました。しかし、1996年卒業以降は減少に転じていることがわかります。実際、博士課程平均在籍年数の平均は4.2年ですから、学生は「平均的には」最低修業年数よりも1年以上多く博士課程に在籍してから卒業していますね。

分野別の最低修了年限卒業率の変遷

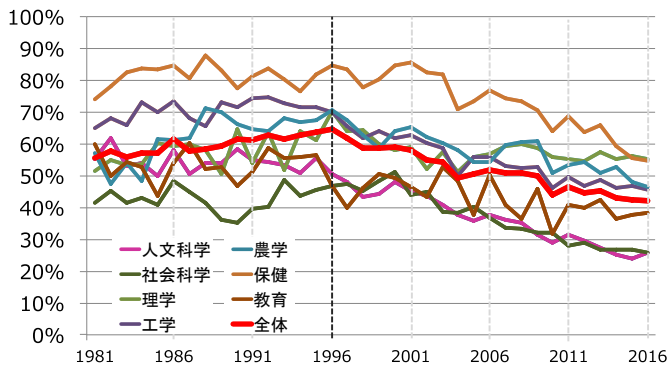


図2 分野別の最低修了年限卒業率の変遷(学校基本調査より作成)

表1 博士課程在籍平均年数の変遷(学校基本調査より作成)

年	1981	1986	1991	1996	2001	2006	2011	2016
博士課程在籍平均年数	3.9	3.8	3.7	3.6	3.7	3.9	4.1	4.2

※最低修業年数卒業者は3年在籍、4年以上超過は7年在籍とし、その他は除いて計算した。

最後に図1・2を同時に見てみましょう。満期退学率は1996年頃から横ばい傾向です（文系は低下が続いています）。一方で、同時期から最低修了年限卒業率は低下しています。ここから、博士号をとるために博士課程生の在籍が長期化しつつある（在籍期間を延ばしても学位をとって卒業しようとする）傾向が伺えます。原因には社会人学生が増え、長い時間をかけて博士号を取ろうとしている人が増えていることが挙げられます。また、博士号を持たず、修士号だけで大学教員になることが難しくなってきたことも要因の一つかもしれません。今回は、「博士課程と男女比」です！

執筆担当：マスター見習い

紙幅の都合で、1980年以前のデータは掲載しておりません。H.A. (nakasesekai.jimdo.com) で公開しています。

読者の意見

opinion of readers

創刊号へのご意見、
ありがとうございます！



“印刷して、研究室の院生に
配りましたよ！”

(531号室の妖怪・
日和見研究員)

“手作り感があつて
温かい気持ちになりますね”
(@IWKRterter)



博士課程川柳

博士学生として過ごす毎日、過ごした日々の中で漏れ
出る何かを、17文字で表現してください。

たとえばこちらへ

同期との 有意差目立つ 結婚式

(詠み人 幸せな隣人)

川柳やお寄せいただきました感想・ご意見は、特集
や一つのコーナーとするなど、今後の誌面作りに活用さ
せていただく予定です。どしどしご投稿ください！

※雑誌『博士世界』では、一緒に取材・記事執筆
を行ってくださる編集部員を募集しています。博
士課程について知りたい・伝えたい方であれば、
実際に在学しているか・していたかは問いません。
興味のある方は「一報を！」

読者コーナーへの投稿、本誌へのご意見・ご要望は

メールアドレス

hakasesekai2016[at]gmail.com

へお寄せください！ ([at]は@に変えてください)

※ご連絡の際には

ペンネーム・専攻分野・学年・性別を
添えてください

2017年4月末に刊行予定の本誌第3号は

特集「博士学生の恋愛 第一弾 女子の場合」
数字で見る博士課程③博士課程と男女比
などを掲載する予定です。お楽しみに！

編集後記

「リリは須らく血液型B型である。(ex. Segurei et al. 2012)
つまり、「リリはB型」ならば「血液B型である」。
ゆえに「血液B型でない」ならば「リリではない」のである。
私は血液B型である。え、あ、愉快的編集メンバーを募集して
います！ ウホッ(ちどりあん)

アド街と世界ふしぎ発見がまた始まってしまった…もう一週間
経ってしまった…を数年間毎週繰り返して今に至ります。

(ソクラテス)

「見習い」が取れそうです。(マスター見習い)

博士後期課程を出てから約15年経過。思い出がないというこ
とではないが、どんな日常だったのか思い出せない。やっへえ。
(末広アパート2号)

博士世界 第2号

二〇一七年二月二十五日発行

編集 「博士世界」編集部

(大上真礼・有子山俊平・寺田悠希・林直樹)

発行 特定非営利活動法人 国土利用再編研究所

606-8186 京都府京都市左京区一乗寺南大丸町

58番地3 一乗寺ビル2F

<http://iij.jp/>